梯子を降りる際、足を踏み外し墜落

墜落転落ー10

災害発生時記録						
発生月日　時	6月19日（金）			工事内容	圃場整備工事（整地工、暗渠排水工、用水路工他一式）	
被災者	職種	土工	経験年	22	所属	一次下請け
被災程度	第11胸椎椎体骨折					

災害発生状況（写真）

防塵ネットを設置する作業において被災者は、梯子上で単独で骨組み単管にネットの取り付けを行っていた。
そして梯子を降りようとした際に誤って足を踏み外し
バランスを崩して約2mの高さから墜落し被災した。

初期の対策状況含む事項(写真含)

被災者は事故後、小休止を取り通常作業を行った。休み明けの月曜日（3日後）の朝に本人に
状態を確認したところ、まだ痛みがあるとのことから病院へ行くよう指示した。
そして結果は胸椎椎体骨折と判明し約6ケ月の通院加療が必要との診断であった。
痛みも大したことなかったため翌日から軽作業に就いた。（休業1日災害で処理）

番号	災害発生要因	人的要因	物的要因	管理的要因	同種工事の再発防止対策	コメント(追記・確認すべき事項)
1	高さ2m以上の場所で足場が不安定な梯子を使用しての継続作業を単独で行っていたため慣れと疲労により注意力が散漫になったこと。	○			1．単独作業は行わない	本事例のように2m以上の場所で継続的に作業を行う場合は、法令に基づき40cm以上の作業足場を確保し、墜落防止措置を講じることが必要です。下請け任せにしないで計画段階で施工方法を検討することが大切と思われる。
2	高さが2m以上の場所での作業にも拘わらず墜落防止措置を講じていなかったこと。		◎		2．リトラクタ式墜落防止器具を使用する	（作業床として、作業台や高所作業車の使用も検討が必要）

調査記入時の注意点ーー①　所属欄は5項目の該当する項目に○マークの記入　　②3要因(人的･物的･管理的)に関係･該当する要因に○ー重要要因と思われる事項に◎を記入してください。（添付要因資料参照）